

# 平成31・令和1年度 事業報告書

平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで

[認定特定非営利活動法人 こども医療支援 わらびの会]

## 1. 事業実施の方針

### ★ わらびの会各団体との組織連携の強化に努めた

- 【1】ファミリーハウス「がじゅまるの家」の理念に添った運営を目指し、利用者が心身共に安らげる滞在施設となるよう努めた。また、専門の相談員在職中は利用者に寄り添い支援を行った。県立図書館一括貸出システム（6か月）の継続更新を行い保護者向け本の充実を図った。視察見学・来訪者、地域との交流を通してハウスの周知に努めた。
- 【2】病院ボランティアに関する事業は、今年度も民間福祉基金の助成を受け 第27期、28期 養成講座を実施した。ボランティアスキルアップのための勉強会は、後半に予定していたが、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。養成講座開講により、活動するボランティアは、医療センター、琉大病院ともに増加した。
- 【3】広報事業は、毎月のホームページの更新、会誌発行等により広報に努めた。「認定NPO法人」取得により、税法上の優遇措置が受けられることを紙面により周知し、賛助会員の増員と寄附金集めを積極的に行った。
- 【4】その他、目的達成事業 ・今年度も県小児慢性特定疾病児自立支援事業（ピアカウンセリング事業）の委託を受け医療センター、県立北部病院に加え名護療育医療センター及び各団体でピアサポート活動を行った。初級編・ステップアップ編のセミナーを実施、サポータースキルアップの為の勉強会を2回開催、病児とその家族の支援に努めた。
- ・第7回合同クリスマス会は、金秀青少年育成財団助成金を受け、多くのボランティアの協力により、当会各団体の病児とそのきょうだい児、入院中の病児が楽しみ、保護者にはレスパイトを提供できた。
  - ・今年度も医療センターに入院するこどもたちを元気づけるための、こども病院ラジオ（キラキラふればらんど）の提供をエフエム那覇の協力により実施することができた。・エンジェルボックスの提供はなかった。
  - ・夢プロジェクトの方針を国立療養所沖縄愛楽園に絞り、名護市に企画書を提出しサウンディングを実施した。

## 2. 事業の実施に関する事項

### 【1】特定非営利活動に係わる事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
遠隔地病児家族等の宿泊施設運営事業	ファミリーハウス「がじゅまるの家」受託運営	4月～3月 24時間体制	ファミリーハウス「がじゅまるの家」	12人	病児とその家族、「がじゅまるの家」スタッフ 他	8,459
病院ボランティアに関する事業	病児家族を支援活動する病院ボランティア養成講座(第27・28期)の開講	8月・2月	こども医療センター・琉大医学部附属病院	20人	一般市民・学生60人	318
	病院ボランティア活動及び活動中のボランティアのスキルアップの為の支援及び勉強会開催(新型コロナウイルスの影響で中止)	通年	こども医療センター・琉大医学部附属病院	10人	病院ボランティア100人	0
広報事業	ホームページ管理・更新	5月・通年	わらびのこども医療センター	3人	会員・医療関係者・一般市民	70
	わらびの会・ハウスだより発行	10月	わらびの会事務局	5人	会員・関係機関・一般市民	433
その他、目的達成事業	ピアサポート活動実施(専門相談員による活動)	4月～11月/2月	医療センター・北部病院・名護療育医療センター・わらびの会	延べ150人	子育て及び病児家族、	612
	ピアサポートセミナー及び勉強会開催	11月・2月	こども医療センター他	8人	わらびの会 会員他60人	1,042
	こどもラジオ(キラキラふればらんど)、エンジェルボックス提供	毎月2回、	こども医療センター・ハウス	5人	医療センター 入院中の病児家族・福祉利用家族	524
	合同クリスマス会開催	12月	こども医療センター	120人	わらびの会・入院中の病児ときょうだい約100人	204
	夢プロジェクト	11月	現地交流会	15人	わらびの会会員・沖縄愛楽園入園者	120

### 【2】その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
自動販売機による飲料水販売事業	調整中					-